

VILベンチシステム(RC-S)

Vehicle In the Loop bench system

実車のホイールをタイヤ型軸受に換装し、低慣性ダイナモと接続したVILベンチシステム(RC-S)のご紹介です。悪路・高速走行、急発進・急停車など、危険を伴うテストシナリオでも安全かつ高精度に再現します。

■ 概要

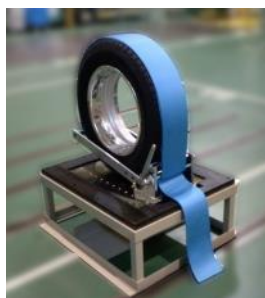


シャシダイナモでは実現困難だったスリップ等の過渡的挙動を、安全かつ高い再現性で実現する実車を供試体としたベンチシステムです。さらに、新登場のステアリング負荷装置を採用することで、「はしる・とまる」だけでなく、「まがる」を台上置換することができ、緊急回避などの急激なハンドル操作にも対応可能となりました。

■ 特長

特長1 タイヤ型軸受により、車両搭載が容易

ピット作業場等で実車のホイールをあらかじめタイヤ型軸受(ベアリング)に換装し、ロックピンで軸受の回転を固定することで、そのままベンチへ自走して移動することができます。ベンチでは、タイヤ型軸受にベルトを巻き付けるだけで車両拘束が完了します。



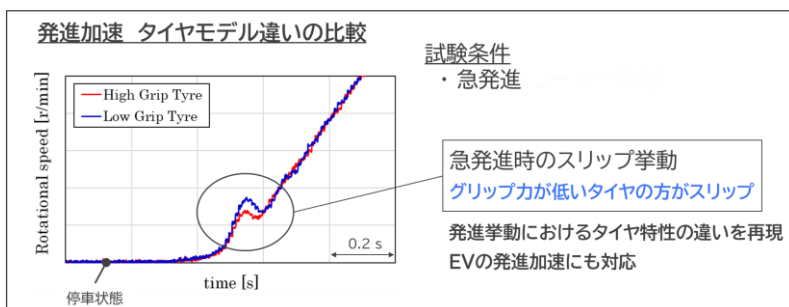
特長2 テストコースやシャシダイナモの不得意領域をカバーできる

・高い安全性

タイヤが回転しないため危険なテストシナリオを行っても、クラッシュ(テストコース)や車両飛び出し(シャシダイナモ)の様な事故の恐れがありません。

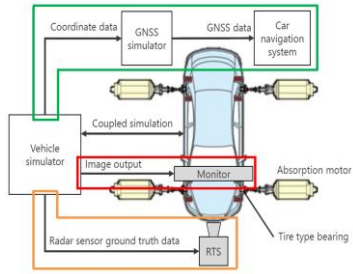
・繊細な挙動も高精度に再現

実タイヤが影響しないことに加え、低慣性ダイナモと高剛性軸トルク計の採用により、繊細な挙動もデータとして捉えることができます。シミュレーションベンチであることから、机上検証ツールとの連携も可能で、MBDの推進にも大きく貢献します。



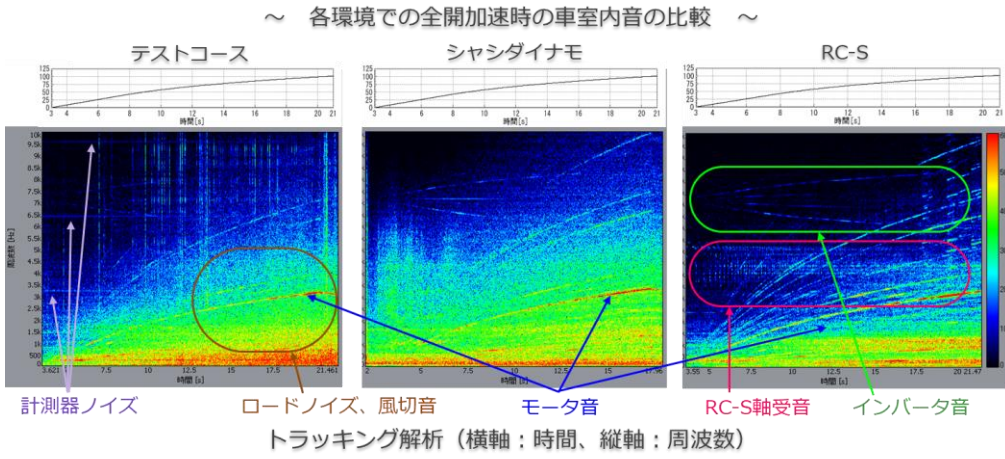
■ 事例紹介 1

実車のまま台上化でき、ステアリング負荷装置によりステアリング反力を考慮した操舵も可能なRC-Sは、AD/ADAS搭載車両の開発においても、最適なベンチ構成となります。

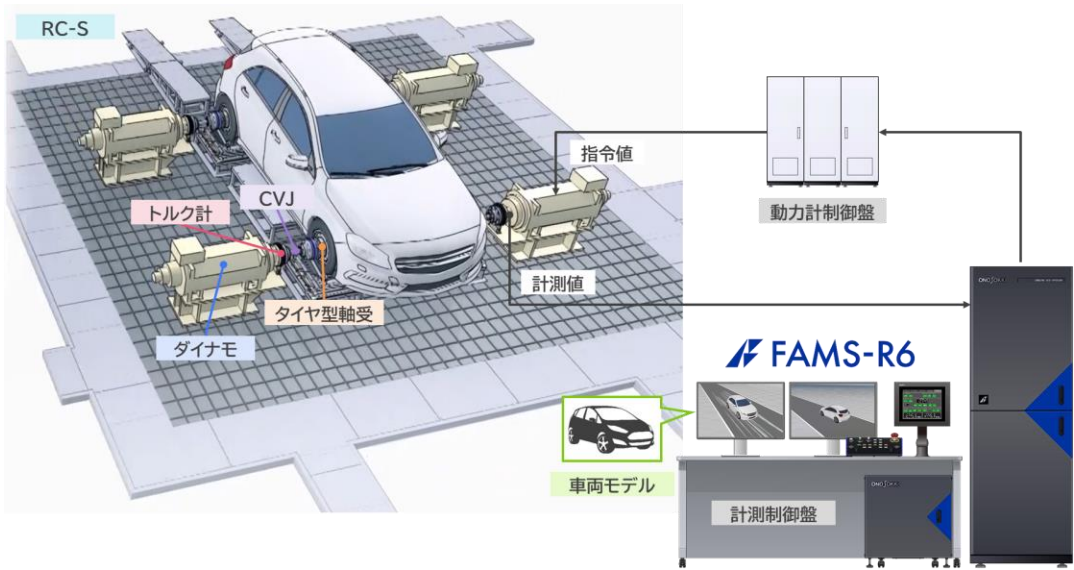


■ 事例紹介 2

電動化により、今までエンジン音にまぎれていた音が顕在化。タイヤが回転しないRC-Sはロードノイズの発生がないため、xEV車両の開発におけるNV計測にも、最適なベンチ構成となります。



■ 構成例



※ Microsoft® Windows®は米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。その他記載されている会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

お客様へのお願い ■ 輸出または国外へ持ち出す際のご注意
当社製品（役務を含む）を輸出または国外へ持ち出す場合は、外為法（外国為替及び外国貿易法）の規定により、リスト規制該当品であれば、経済産業大臣へ輸出許可申請の手続きを行ってください。なお、非該当品であってもキャッチオール規制に該当する場合は、経済産業大臣へ輸出許可申請が必要となります。当社製品の該非判定書をお求めの際は、当社ホームページの該非判定書発行依頼ページよりご依頼ください。お問い合わせは、最寄りの当社営業所または当社総務人事グループまでご連絡ください。

- 機器を正しく安全にお使いいただくために、ご使用前に必ず「取扱説明書」をよくお読みください。
- 本チラシ記載の価格はすべて税抜き価格です。
- 記載事項は変更になる場合がありますので、ご注文の際はご確認ください。

ご用命は担当営業へお気軽にご連絡ください。

株式会社 小野測器

〒220-0012 神奈川県横浜市西区みなとみらい3-3-3
横浜コネクスクエア12階 TEL.(045)935-3888

お客様相談室フリーダイヤル 0120-388841
受付時間：9：00～12：00/13：00～18：00（土・日・祝日を除く）

北関東 (028) 684-2400 浜松 (053) 462-5611 九州 (092) 432-2335
埼玉 (048) 474-8311 中部 (0565) 41-3551 海外 (045) 935-3918
首都圏 (045) 935-3838 関西 (06) 6386-3141
沼津 (055) 988-3738 広島 (082) 246-1777

ホームページ <https://www.onosokki.co.jp/>
E-mail webinfo@onosokki.co.jp